



お元気ですか! 志村 たかよし です

前途多難? 築地新市場

「先行営業施設開設準備協議会」スタートからつまずき

水産 「東卸の参加は見送り」

中央区が築地市場「移転」を前提として場外市場に整備を予定している先行営業施設「築地新市場（仮称）」開設のための具体的な検討を行う「先行営業施設開設準備協議会」の初顔合わせが6月20日に行われ、その報告が、7月9日の企画総務委員会でありました。区の説明によると、施設の中心となるべき東卸（東京魚市場卸協同組合）から「現段階での参加は見送りたい」と準備協議会への参

加を断る返事があつたそうです。

区は「築地新市場」について、観光客やプロの買い出し人を対象にし、築地のブランドを継承するとしています。



区は「築地新市場」について、観光客やプロの買い出し人を対象にし、築地のブランドを継承するとしています。

青果 「組合への説明悩ましい」

青果仲卸の築地本場青果卸売協同組合と東京築地市場青果仲卸協同組合の理事からは「豊洲ブランドをどう作るかが問題。築地ブランドを作るのは難しいのでは」「組合は一丸となって豊洲移転に取り組んでいる。区の施設について組合に説明するのは悩ましい」などの発言があつたそうです。

5月17日に開催された「新しい築地をつくる会」で、仲卸業者の立場から行つた私（志村）の問題提起にたいし、場外市場や町会の方は「過剰な反応」をしましたが（「592号」参照）、今回の「準備協議会」で、区及び場外市場関係者と仲卸関係者との「温度差」が浮き彫りになりました。

「築地新市場」と「千客万来施設」のコンセプトが重なることを区が認める

区は「築地新市場」について、観光客やプロの買い出し人を対象にし、築地のブランドを継承するとしています。

ところが、豊洲新市場に計画されている「千客万来施設」について、6月13日の都議会本会議で中西中央卸売市場長は「築地で培われた世界でも有数の食文化を継承する」「市場ならではの専門的なノウハウを生かし、食に親しめる体験の場や旬の食材情報など、食の魅力発信機能を設ける」「食のプロが評価する品質を備える」と発言しています。

日本共産党の小栗議員が「競合するのではないかと質問したところ区は「コンセプトは重なるが、共存しながら相乗効果をあげていく」と開き直りました。

なんでもかんでも「これから検討」とは！

2年後に開設を予定しているにもかかわらず「築地新市場」がどのような施設になるのか、いまだ不透明な状況です。

9日の企画総務委員会での質問は…

施設の運営主体はどこなのか？ 公設民営なのですか？

具体的な開業の時期は？

施設への初期投資（基盤整備）の概算をいくらに見積もっているのですか？

駐車場をつぶして施設を作りませんが代替駐車場はどこ？施設関係者の駐車場はどこ？仕入れなどの荷さばきのスペースはどこ？

避難路はどのように考えていますか？

お客さんが入りやすい出入口の工夫が必要ではないですか？

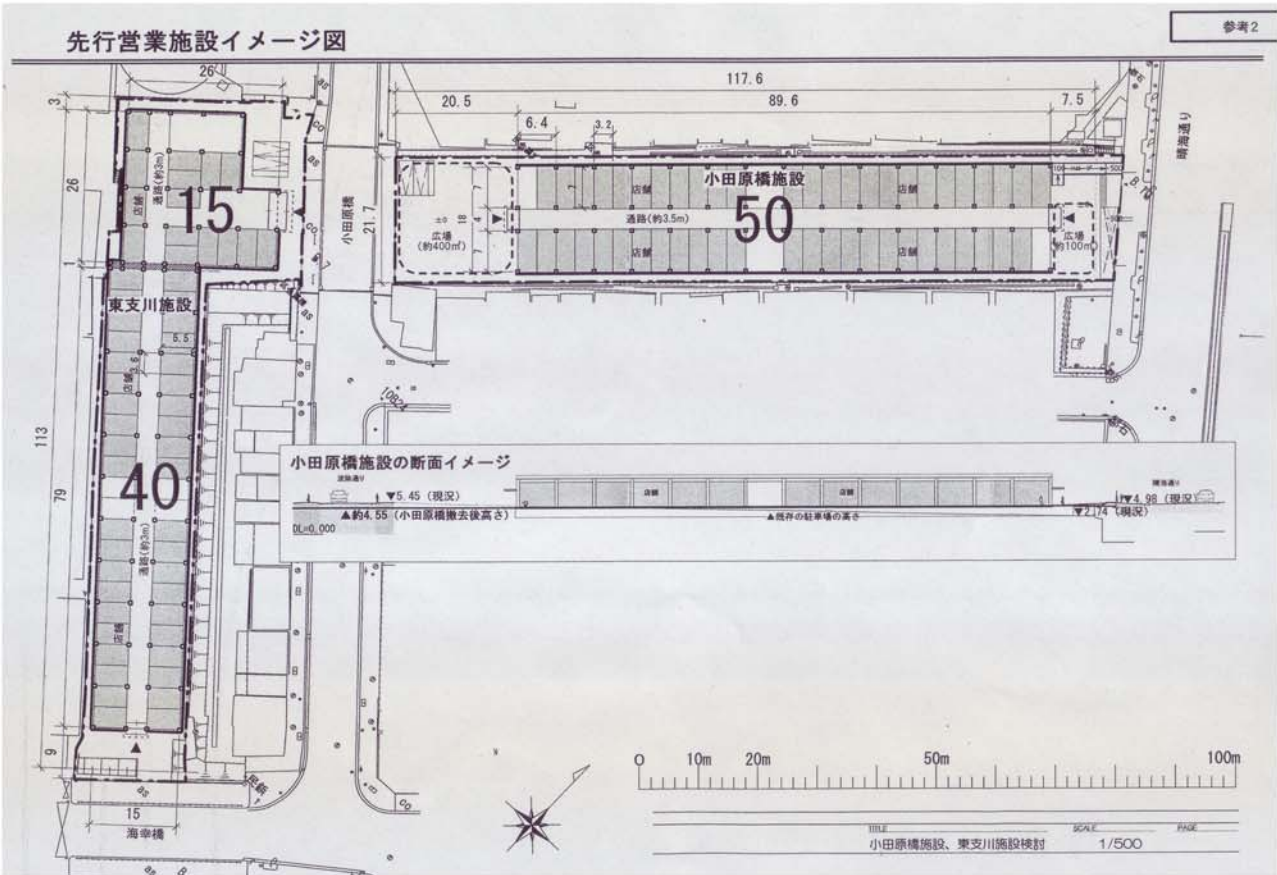
「準備協議会」に参加している仲卸業者が、当事者なのに施設出店業者を決める選考委員になるのはおかしくないですか？

これらについての区の答弁は、すべて「これから検討します」でした！
なんとも心もとない状況です。



「L字部分」が、小田原橋および東支川施設予定地

左は「L字部分」の施設イメージ図。105店舗のコマ割り案です。



「意見」を「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6606-6606)